東北学院東日本大震災アーカイブプロジェクト
学校法人東北学院デジタルアーカイブ
東日本大震災の記録 Remembering3.11

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2015-10-30 キーワード (Ja): キーワード (En): Great East Japan Earthquake, archive, Digital archive, Record, 3.11, Tohoku Gakuin 作成者: 佐藤, 恵 メールアドレス: 所属:
URL	https://tohoku-gakuin.repo.nii.ac.jp/records/437

東北学院東日本大震災アーカイブプロジェクト

学校法人東北学院デジタルアーカイブ
東日本大震災の記録　Remembering3.11

事例報告

平成26年11月7日（金）第16回図書館総合展 国立国会図書館フォーラム
「東日本大震災に関する記録の収集・整理・保存について
国立国会図書館・大学図書館・県立図書館の取組」

東北学院大学図書部図書情報課（中央図書館）　佐　藤　　恵

index

1．東北学院東日本大震災アーカイブプロジェクト概要

･･･　p.2-12

2．デジタルアーカイブ『東日本大震災の記録 Remembering3.11』

･･･　p.13-39

3．【参考】震災記録集『After3.11 東日本大震災と東北学院』における
アーカイブデータの活用

･･･　p.40-42

■ 学校法人東北学院　概要

・創立：1886年

・建学の精神：「福音主義キリスト教」の信仰に基づく「個人の尊厳の重視と人格の完成」

・在籍者数（2014年5月1日現在）

	学生/生徒/園児数	専任教職員数	
法人事務局	-	59	
東北学院大学	11,757 （うち大学院生：104）	473	【学　部】文系5学部11学科 理工系1学部4学科 【大学院】文系8専攻 理工系5専攻 【キャンパス】土樋 / 多賀城 / 泉
東北学院 榴ケ岡高等学校	1,017	51	
東北学院高等学校	1,134	89	
東北学院中学校	504		
東北学院幼稚園	195	7	
計	14,607	679	

1 ｜東北学院東日本大震災アーカイブプロジェクト概要

CraftMAP(http://www.craftmap.box-i.net/)より

■ プロジェクトのはじまりは･･･

2011年10月　大学学長と図書館長の会談

被災地の大学として、震災の経験から後世の防災教育や地域社会へ貢献できることは？

図書館の視点から

震災にかかる学内各種記録の収集・保存・公開

・早急な資料収集の必要性
　→各部署で作成された震災当時の会議録・写真等や各種メモ等が年度末に大量に処分され消失する可能性も･･･

・取り組みは大学に限定せず、学校法人全体とする

■ なぜ、学内資料アーカイブ？

他大学における東日本大震災アーカイブの例

	運営主体	概要
みちのく震録伝	東北大学 災害科学国際研究所	・東日本大震災にかかる「記憶」「記録」「事例」「知見」 ・被災地の図書館を中心とした「震災記録を図書館に」キャンペーンと連携した資料収集（調査報告書・復旧・復興計画書・フリーペーパー・ミニコミ誌・チラシ・各種活動記録（ボランティア記録、避難所だより・体験記等） http://shinrokuden.irides.tohoku.ac.jp/
震災ライブラリー	東北大学附属図書館	東日本大震災に関する資料（特に学術的な内容を含むもの） http://dbr.library.tohoku.ac.jp/infolib/meta_pub/G0000002shinsai

収集対象：震災資料全般

■ なぜ、学内資料アーカイブ？

私学の特色（強み）を活かせるアーカイブとは？

幼稚園・中学校・高等学校・大学を持つ学校法人の災害対応記録は

高等教育機関のみならず、初等・中等教育関係者・地方公共団体等に

おいても活用してもらえるのでは？

↓

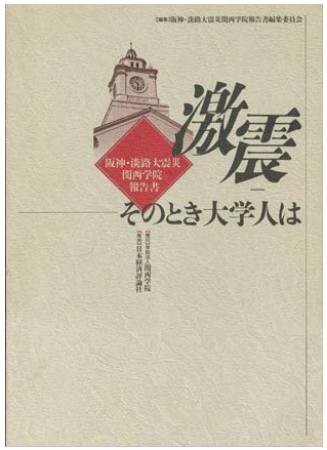
法人内の災害対応・復旧記録の収集にフォーカス

イメージは･･･

『「激震―そのとき大学人は」―阪神・淡路大震災　関西学院報告書―』

（阪神・淡路大震災関西学院報告書編集委員会編）

『「激震―そのとき大学人は」―阪神・淡路大震災　関西学院報告書―』



阪神・淡路大震災（1995年1月17日発生）における関西学院設置学校・部署毎による克明な記録と考察

⇒各校被災状況・災害初動対応・復旧の軌跡、課題

⇒その他、配布文書・新聞記事等の掲載

日本経済評論社より発売されていたが、東日本震災直後（2011年3月25日）関西学院大学災害復興制度研究所ホームページにて全文無料公開へ

http://www.fukkou.net/news/20110325_3.html

本学における初動対応・復旧作業に活用

学内における震災記録の収集・保存の必要性を考えるきっかけに

1 ｜東北学院東日本大震災アーカイブプロジェクト概要

■ 目的

- 地震のみならず、原子力発電所事故など、広域的・複合的大規模災害となった今回の震災における本学関係者の対応を検証する
- 学内の様々な震災関連記録を網羅的・体系的に収集する
- 各種記録を永久保存可能な形式に整え広く社会に提供し、後世の防災・災害対策に利活用してもらう

↓

「できたこと」「できなかったこと」から
災害時の「学び」の場を守るためのヒントを

災害発生時、教育現場の人々に真っ先に思い浮かべてもらえる
アーカイブを目指して

■ 3つの事業

震災写真集 編集・出版	2012年3月
『3.11 東日本大震災 東北学院1年の記録』	

1年2ヶ月

法人内震災資料デジタルアーカイブ構築	2013年5月
『東日本大震災の記録 Remembering3.11』	

写真集データ収録

1年

震災記録集 編集・出版	2014年5月
『After3.11 東日本大震災と東北学院』	

デジタルアーカイブ収録データを利用

■ 体制図

学校法人東北学院　理事会

東日本大震災アーカイブプロジェクト委員会

＜構成員＞13名
委　員　長：人事担当常任理事
副委員長　：学務担当副学長
委　　員：広報部長, 図書部長（図書館長）, 工学部長, 教養学部長, 学長室長, 中学校・高等学校長, 榴ケ岡高等学校長, 幼稚園長, 総務部長, 財務部長, 庶務部長

重要事項（編集/収集方針・予算・契約等）に係る決定事項の協議

東日本大震災アーカイブプロジェクト専門委員会

＜発足時構成員＞16名※⇒現在25名
委　員　長：図書部長（図書館長）
副委員長　：広報部長
委　　員：総務部長, 経済学科教員（土樋キャンパス代表）, 震災当時の工学部長（多賀城キャンパス代表）, 教養学部教員（泉キャンパス代表）, 中学校・高等学校副校長, 幼稚園事務長, 広報課長, 広報課長補佐, 広報課員, 図書情報課長

図書情報課員（委員会事務局）

実務に係る決定事項の協議

資料電子化チーム
（主管：大学 図書情報課）

震災記録集編集チーム
（主管：法人事務局 広報課）
編集委員会
編集室

■ これまでの歩み

年月		主な動き
2011	10月下旬	・震災資料保存の必要性についての会談（学長・図書館長）
	12	・広報課・図書情報課の二課による「東日本大震災アーカイブプロジェクト委員会準備会議」発足
2012	3月	**・理事会のもと、学校法人全体の取組として「東北学院東日本大震災アーカイブプロジェクト」正式発足** **・震災写真集『3.11 東日本大震災 東北学院1年の記録』出版**
	5月	・法人設置学校全てに対し資料提出依頼 1）2011年3月11日-2012年3月10日の間に作成した震災関連各種資料（原本） 2）個人記憶収集フォーム（臨時・派遣・委託職員含む全教職員対象）
	6月	・震災資料・個人記憶収集フォーム提出締切 ・資料整理（資料台帳作成・現物に対する整理番号付与）開始

■ これまでの歩み

プロジェクト主管		資料電子化（デジタルアーカイブ）	記録集編集
		大学　図書情報課	法人事務局 広報課
	8月	・メタデータ付与開始（~10月中旬）	
2013	1月	・資料電子化・Webシステム構築スタート	・記録集編集委員会・編集室設置
	3月	・国立国会図書館被災図書館記録WGに参加	
	4月	・15日：学内限定公開	
	5月	・個人情報最終チェック作業 ・**15日（東北学院創立記念日）：一般公開**	
	6月		・現職役職者対象インタビュー終了
	8月	・国立国会図書館東日本大震災アーカイブ「ひなぎく」とのデータ連携開始	・各部署にて原稿執筆
2014	2月		校正・リライト終了
	3月		・**11日：『After3.11 東日本大震災と東北学院』出版**

国立国会図書館 東日本大震災アーカイブ「ひなぎく」との連携のきっかけに

2｜デジタルアーカイブ

『東日本大震災の記録 Remembering3.11』

■ 収集対象校・機関

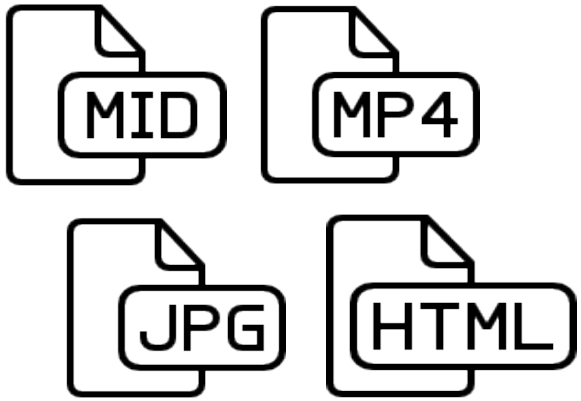
学校法人東北学院 法人事務局	
学校法人東北学院が設置する全ての学校	
東北学院大学	土樋キャンパス（仙台市青葉区） 泉キャンパス（仙台市泉区） 多賀城キャンパス（多賀城市）
東北学院中学校・高等学校（仙台市宮城野区）	
東北学院榴ケ岡高等学校（仙台市青葉区）	
東北学院幼稚園（多賀城市・大学多賀城キャンパス内）	
関係諸機関	
東北学院大学教職員組合	
東北学院中学校・高等学校教職員組合	
東北学院榴ケ岡高等学校教職員組合	
東北学院大学生活協同組合	

■ 対象部署　※2012年6月時点

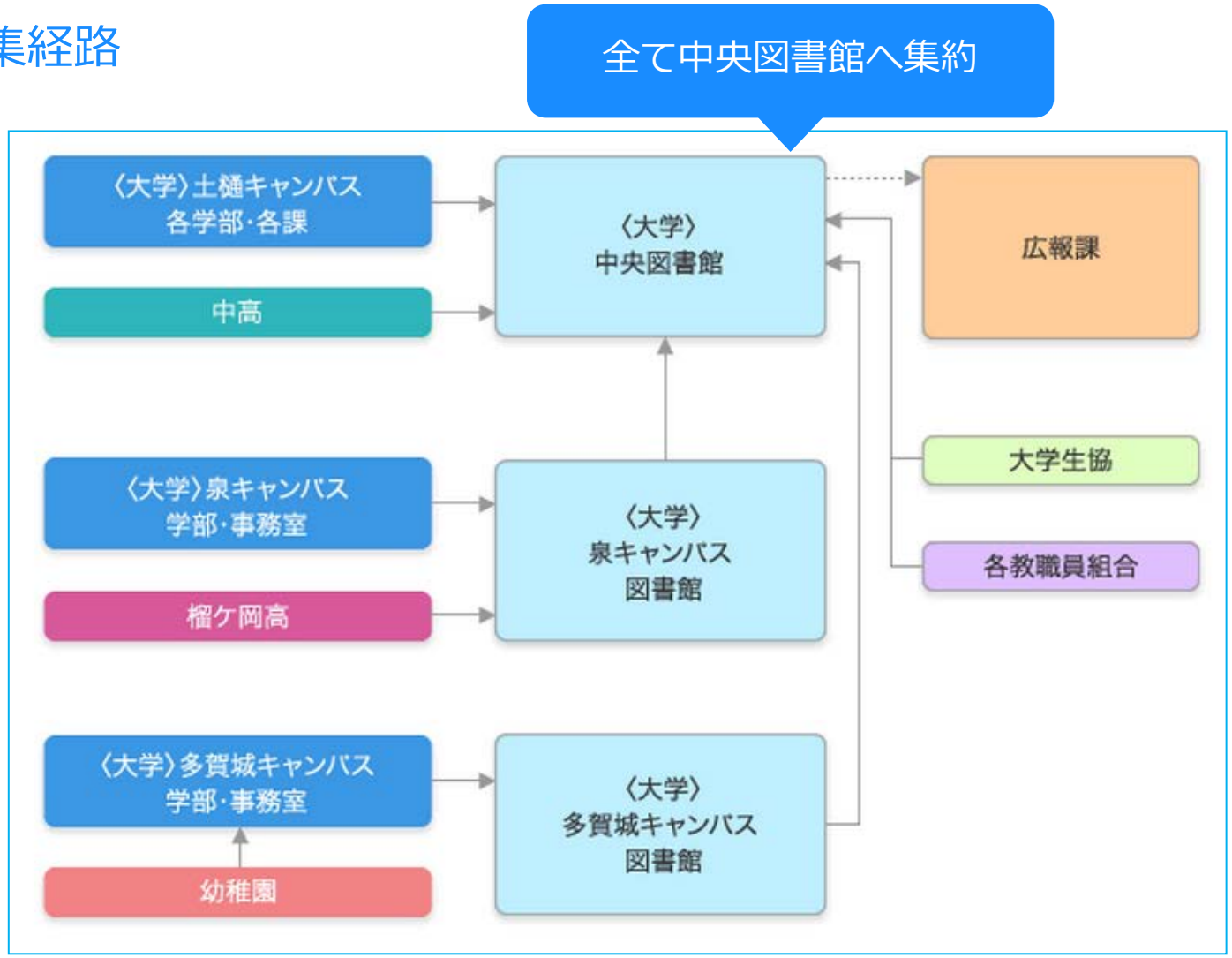
	キャンパス	区分	
大学	土樋	学部	4学部（7学科）
		大学院	5研究科（7専攻）
		事務	理事長直轄　1部署 法人事務局　5部署 大学　14部署
	泉	学部	1学部（4学科）
		大学院	1研究科（1専攻）
		事務	キャンパス事務室
	多賀城	学部	1学部（4学科）
		大学院	1研究科（5専攻）
		事務	キャンパス事務室
中学・高等学校 /榴ケ岡高等学校 / 幼稚園 / 大学生活協同組合 / 各校教職員労働組合 ⇒各事務室			

■ 収集対象資料

2011年3月11日から2012年3月11日の間に学内で作成された下記の資料

	■文書類 会議記録・報告書・周知文・連絡文書・メール本文・プレスリリース・震災に係る本学関連新聞記事・手書きメモ
	■写真類 被災状況・復旧状況 ■動画類 被災状況・復旧状況・各種活動記録・メディア放映情報 ■ホームページデータ

■ 収集経路


全て中央図書館へ集約
〈大学〉土樋キャンパス
各学部・各課
中高
〈大学〉
中央図書館
広報課
〈大学〉泉キャンパス
学部・事務室
榴ケ岡高
〈大学〉
泉キャンパス
図書館
大学生協
各教職員組合
〈大学〉多賀城キャンパス
学部・事務室
幼稚園
〈大学〉
多賀城キャンパス
図書館

■ 提出要項

提出要項

対象資料	東日本大震災にかかる全ての東北学院関係資料 ※震災に関連する資料であれば内容は一切限定しませんが、提出資料に迷われた際の目安として別紙【資料 2】「キーワード一覧」をご利用ください。
資料種別	紙（手書きメモ等含む）、写真、電子データ、音声、動画等
対象資料期間	2011 年 3 月 11 日～2012 年 3 月 11 日
資料提出先	大学各キャンパス図書館（【資料 3】収集経路参照） ※資料収集は各キャンパス・各校毎に実施予定
資料提出期限	2012 年 6 月 11 日
当プロジェクトの成果物について	・【資料の電子化と震災記録の共有（学内限定）】 ご提出いただいた資料は全て電子化し年度内を目途に DVD 等に収録して各部署へ配布する予定です。 ・【東北学院震災記録集の作成・配布】 ご提出いただいた資料を基に東北学院震災記録集を編纂・刊行し、学内外へ配布する予定です。
その他	・提出資料が電子媒体の場合、提出用メディア（CD-ROM または USB メモリ）をお渡しいたしますのでご希望の部署は下記連絡先までご連絡願います。 ・原則としてご提出いただいた資料は返却いたしません。アーカイヴとして大学中央図書館で保管させていただきます。 ・資料提出にあたり、コピーを要する場合は各部署にて対応願います。 ・別紙【資料 4】「東日本大震災アーカイヴプロジェクト提出票」をご記入の上、提出資料に添えて図書館宛ご提出くださいますようお願いいたします。
連絡先	資料提出に関する問い合わせ先 ・大学中央図書館（担当：須田・佐藤） TEL：264-6491 E-mail: tg-ap@staff.tohoku-gakuin.ac.jp

■ 記憶を辿るツール　－キーワード

東北学院震災アーカイヴ　キーワード一覧　【資料2】

学部/部課		3月11日～授業開始	授業開始～夏休開始	夏休開始～3月10日
	土樋キャンパス全体	災害対策本部、復興対策委員会、文部科学省、キリスト教関係諸団体、仙台学長会議、危機管理、連絡文書、会議録、議事録、避難誘導、備蓄品、学内外広報、卒業式、入学式、入構制限、余震対応、避難所、見舞い	前項に加えて、震災報告、復興集会、危機管理、海外要人	前項に加えて、震災報告、復興集会、危機管理、海外要人
	文学部/文学研究科	学生安否確認、状況・対応・反省・課題、写真集	震災関連調査研究	震災関連調査研究
	経済学部/経済学研究科	学生安否確認、状況・対応・反省・課題	震災関連調査研究	震災関連調査研究
	経営学部/経営学研究科	学生安否確認、状況・対応・反省・課題	震災関連調査研究	震災関連調査研究
	法学部/法学研究科	学生安否確認、状況・対応・反省・課題	震災関連調査研究	震災関連調査研究
	法科大学院	学生安否確認、状況・対応・反省・課題、新司法試験対策	震災関連調査研究	震災関連調査研究
	庶務課	状況・対応・反省・課題、復興対策委員会、文部科学省、キリスト教学校教育同盟	中・高(稲ケ岡含む)・幼稚園授業料保育料減免補助、各種外部団体会費等減免	追悼礼拝
	人事課	職員安否確認、状況・対応・反省・課題、機器備品被害、勤務体制	教職員支援	教職員支援
	校友課/同窓会	状況・対応・反省、機器備品被害、支部・TG会の被害	同窓生の活動、被災支部・TG会への支援	同窓生の活動
	内部監査室設置準備室	状況・対応・反省、機器備品被害		
	広報課	状況・対応・反省、機器備品被害、報告書、学内外広報、記録写真	震災報告、学内外広報	震災報告、学内外広報
	財務課	状況・対応・反省、機器備品被害、23年度補正予算、復興予算、義援金	補正予算、義援金、学納金減免補助、各種外部団体会費等減免	24年度予算、義援金
	学長室事務課	状況・対応・反省、機器備品被害	シンポジウム、連携協定(河北新報社、商	震災関連調査研究、研究支援

■ 記憶を辿るツール　-社会と本学の動き（2011/3/11～5/9 ）

東日本大震災発生から授業開始（5/9）までの社会と本学の動き

2012/06/05
東北学院大学図書館

月	日	曜日	出来事	全学の動き
	12	土	【出来事】 15:36頃 東京電力福島第一原子力発電所1号機水素爆発	【会議】 ・災害対策本部会議開催 【決定事項】 ・体育館（避難場所）以外の建物への出入禁止 【出来事】 ・泉・多賀城キャンパスの状況確認・後期入試合格発表（小掲示板にて） 23:00 土樋キャンパス一部の電気回復 【宿泊者数】 土樋：約130名 泉：0名 多賀城：約100名
	13	日		
	14	月	【交通機関】 ＜仙台市地下鉄＞ 富沢駅-台原駅間運行再開 （台原駅-八乙女駅ー泉中央駅間、台原駅ー旭ヶ丘駅ー黒松駅は直通無料バスを運行） 【出来事】 11:00頃 福島第一原子力発電所3号機水素爆発 夜 福島第一原子力発電所2号機炉心溶融	【決定事項】 ・卒業式（3月24日）・入学式（4月4日）中止 【出来事】 8:30 ・災害対策本部にて職員全体ミーティング。職員は所属問わず通勤可能な最寄のキャンパスへ出勤することとする 12:10 ・電話回線・インターネット・ホームページ復旧 ・ホームページによる情報発信再開 【大学ホームページ　新着情報更新】 ・「【在学生の皆様へ】大震災による就職課からのお知らせ」 ・「卒業・学位記授与式　中止のお知らせ」
3				

■ 個々人の記憶の掘り起し

アーカイヴ専門委員会

東日本大震災　個人記憶収集フォームシート

＜目的＞　東日本大震災に関する個人記憶事項の定型記録と収集記録の電子ファイルとしての保存

東日本大震災直後以降で、各人が実際に直面した事項、対応した事項およびその時の様子等の記憶に残っている事項について、記載できる範囲での情報をデータとして収集し、全学の東日本大震災アーカイヴに収録する予定です。

（本フォームシートに記載した後、このExcelファイルを添付ファイルとしてtg-ap@staff.tohoku-gakuin.ac.jpのメールアドレスにご送付願います。）

記入者氏名　　所　属

＜人事異動により震災当時から所属が変更になった方へ＞
旧所属時代の事項・内容については、文末にカッコ書きで当時の所属名をご記入ください

※　年月日については、記入できる範囲での記載で結構です。
※　記載内容については、箇条書きで、1項目につき【原則60文字以内】で当時の記憶事項をご報告願います。

年月日	直面した事項およびそれへの対応内容等

※多賀城キ

■個人記憶収集（専任教職員・派遣・臨時・委託（図書館・施設・警備・清掃）職員対象）

・各個人の消えゆく「記憶」を可能な限り掘り起こす

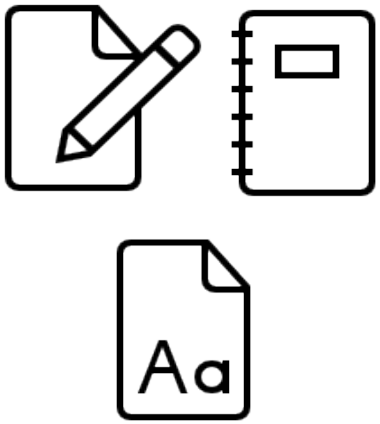
・業務に関する内容について、1項目60字程度で記入

⇒Twitterの140文字を参考に、負担にならないボリュームで記入してもらう

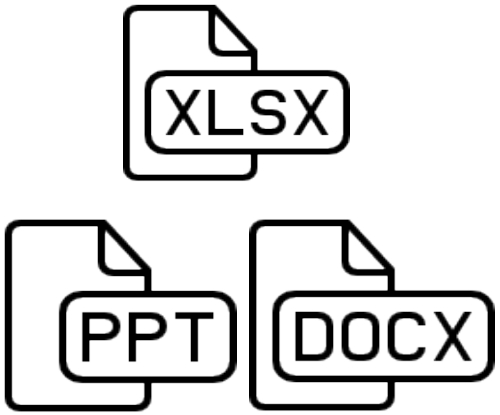
※職員も被災者であることを配慮し、決して無理強いはしない

■ 資料種別

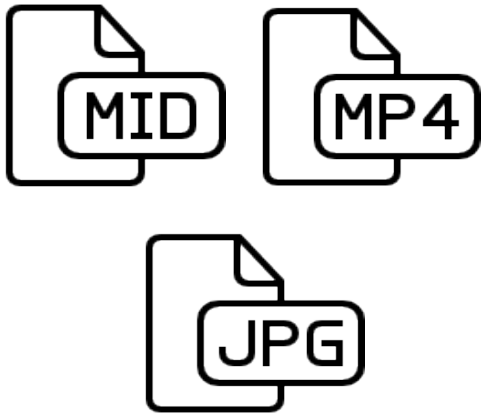
提出時の資料形態により3種類に分類、種別毎に台帳（メタデータ）作成



紙データ



ボーンデジタルデータ



画像・動画データ

2｜デジタルアーカイブ『東日本大震災の記録 Remembering3.11』

2｜デジタルアーカイブ『東日本大震災の記録 Remembering3.11』

■ メタデータ例

アルバイト4名で付与

紙データ

整理No.	整理日	タイトル	提出部署	ページ数	資料状態	資料日付1	資料日付2	位置情報	キーワード1	キーワード2	キーワード3	個人情報有無	公開可否	DOI	備考	ファイル名
	20120806	安否確認(教職員)その1	総務課		コピー	20110312	20110322	土樋	安否確認	教職員	その1	有	不可			-
A-1-1	20120806	安否確認(教職員)その1_土樋教員	総務課	6	コピー	20110312	20110322	土樋	安否確認	教職員	土樋教員	有	不可			pp_s0000101.pdf
A-1-2	20120806	安否確認(教職員)その1_土樋職員	総務課	10	コピー	20110312	20110322	土樋	安否確認	教職員	土樋職員	有	不可			pp_s0000102.pdf

ボーンデジタルデータ

整理No.	整理日	タイトル	提出部署	ファイル形式	ページ数	資料日付1	資料日付2	作成者	作成日	作成時間	キーワード1	キーワード2	キーワード3	個人情報有無	公開可否	DOI	ファイル名
B-1	20120807	東北学院中学校・高等学校教職員組合　震災見舞金支給状況	中高	☑Word ☐Excel ☐PDF ☐PowerPoint ☐その他[　　]	1			m-oota			震災見舞金	一番町	陽ヶ岡	無	可		e_b0000001.pdf
B-2	20120807	第1回　団体交渉　報告	中高	☑Word ☐Excel ☐PDF ☐PowerPoint ☐その他[　　]	11	20110516		Eji Imamura			団体交渉	理事	中高	無	可		e_b0000002.pdf

写真・画像データ

整理No.	整理日	タイトル	提出部署	資料形態	ファイル形態	資料日付1	撮影情報									位置情報	キーワード1	キーワード2	キーワード3	個人情報有無	公開可否	DOI	ファイル名(S) 120×90pixel	ファイル名(M) 640×480pixel	ファイル名(L) 1280×960pixel
							学内・学外	撮影場所	撮影者	撮影日	撮影時間	ファイルサイズ	元ファイル名	新ファイル名	人物写込有無										
C-1	20120808	8号館前駐車場1	[学生課]	☑写真 ☐動画 ☐その他[　　]	jpeg	20110811	学内	8号館前駐車場		8月11日	14:58	2.75MB	東日本大震災001.jpg	[C-1]東日本大震災001	有	土樋	土樋キャンパス	駐車場	避難	有	不可		ph_c0000001_xjpg	ph_c0000001_mjpg	ph_c0000001_ljpg
C-2	20120808	8号館前駐車場2	[学生課]	☑写真 ☐動画 ☐その他[　　]	jpeg	20110811	学内	8号館前駐車場		8月11日	14:59	2.94MB	東日本大震災002.jpg	[C-2]東日本大震災002	有	土樋	土樋キャンパス	駐車場	避難	有	不可		ph_c0000002_xjpg	ph_c0000002_mjpg	ph_c0000002_ljpg
C-3	20120808	8号館前駐車場3	[学生課]	☑写真 ☐動画 ☐その他[　　]	jpeg	20110811	学内	8号館前駐車場		8月11日	15:07	2.62MB	東日本大震災003.jpg	[C-3]東日本大震災003	有	土樋	土樋キャンパス	駐車場	避難	有	不可		ph_c0000003_xjpg	ph_c0000003_mjpg	ph_c0000003_ljpg

■ メタデータ作成、さて困った･･･

担当者（自分）に標準的なメタデータフォーマットの知識がなかった

→手探り状態でメタデータ項目を考える

いまならこちらを参考に･･

■震災関連デジタルアーカイブ構築・運用のためのガイドライン（2013年3月）
http://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/ictseisaku/ictriyou/02ryutsu02_03000114.html
第5章「コンテンツのメタデータ付与について」

■ NDL東日本大震災アーカイブメタデータスキーマ
http://kn.ndl.go.jp/sites/default/dfsfiles/ndlkn_schema_jpn.pdf

作業手順・キーワード付与基準のマニュアル化が甘かった

→作業者によって判断にばらつきが

学外写真の撮影場所が不明な場合、写っている建造物や看板から場所を推定

→津波で流されて判断不可能････

■ 電子化資料公開可否ガイドライン

以下の基準に該当する資料は電子化のみとし、一般公開は行わない

1）資料収集の際、提出部署から「公開否」の指定があった資料

2）個人情報 の記載がある資料

個人名・個人住所・電話番号・教職員/学生の家族名・犠牲者名・弔慰金/見舞金受領記録(個人名が入っている場合)・業者との取引記録

※会議記録等における役職者名等、公開可と判断される場合は公開対象とする

3）明らかに個人が特定できる写真

・顔が明確に写る等、明らかに個人が特定されるもの
・車両ナンバープレートが特定されるもの
・住宅の表札等、個人の住所が特定されるもの

4）資料公開後、「公開否」への変更を求められた資料および写真

個人情報：公開直前に「公開可」資料について全点目視確認を実施

■ 収録状況（2014年10月23日現在）

資料種別	メタデータ		公開率
	全件	公開可	
アナログデータ（PDF）	674	174	25.8%
ボーンデジタルデータ（PDF）	825	501	60.7%
写真データ（JPEG）	10,977	8,111	73. 9%
動画データ	9	9	100.0%
合計	12,476	8,786	70.4%

■ デジタルアーカイブサイト

①キーワード検索窓：キーワードで検索したい場合に使用します。

②時系列検索：タイムライン表示で時系列に資料を検索することができます

（詳細は「3）時系列検索」へ）

③画像表示：アーカイブサイト登録されている画像が表示されます（ランダム表示）

■ デジタルアーカイブサイト

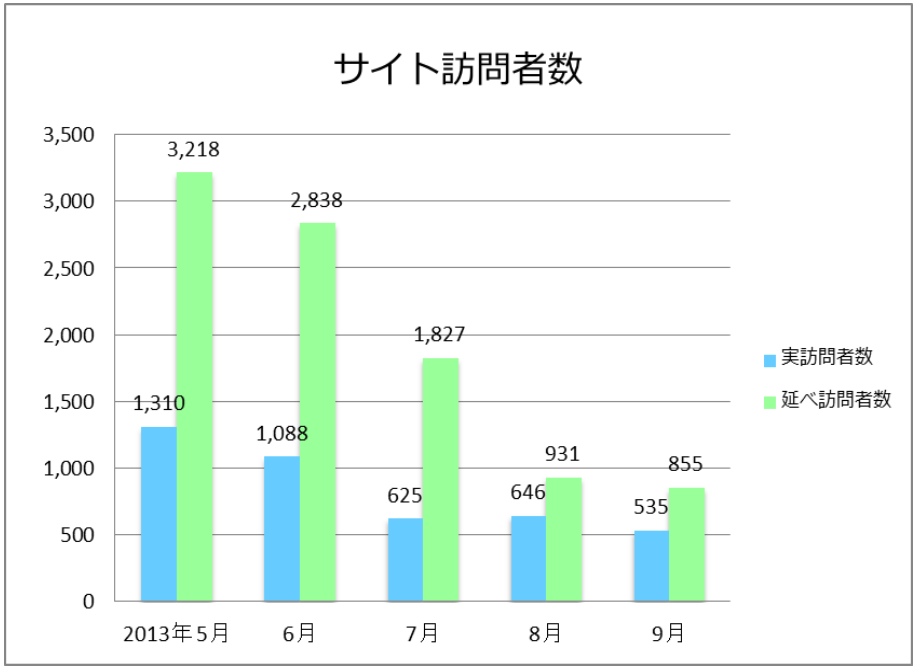
■ デジタルアーカイブサイト

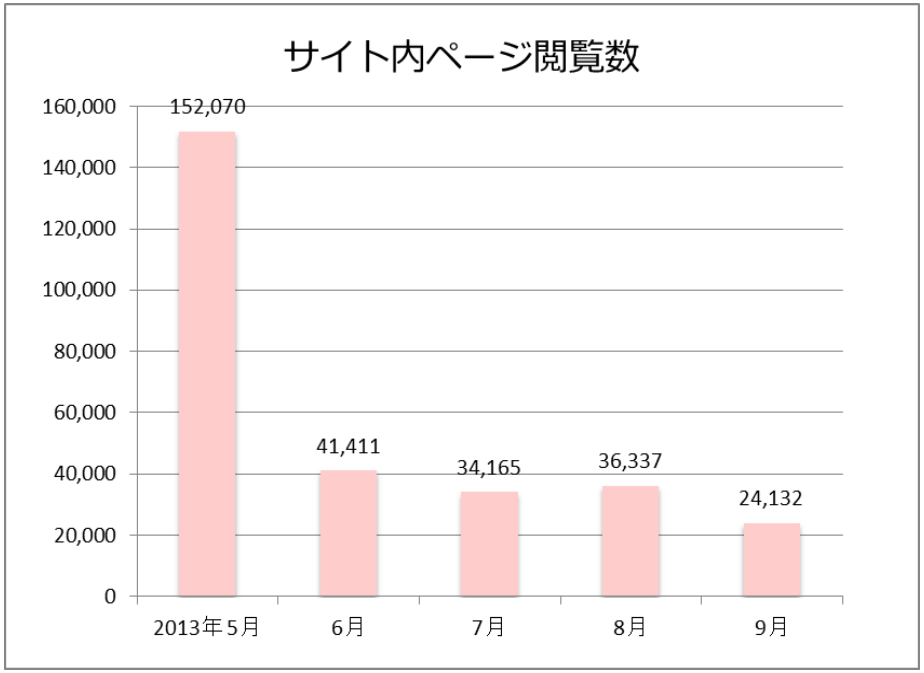
タイムライン表示（※）必須の
仕様条件とした

写真撮影日、文書作成日ごとの一覧がタイムラインで表示されます

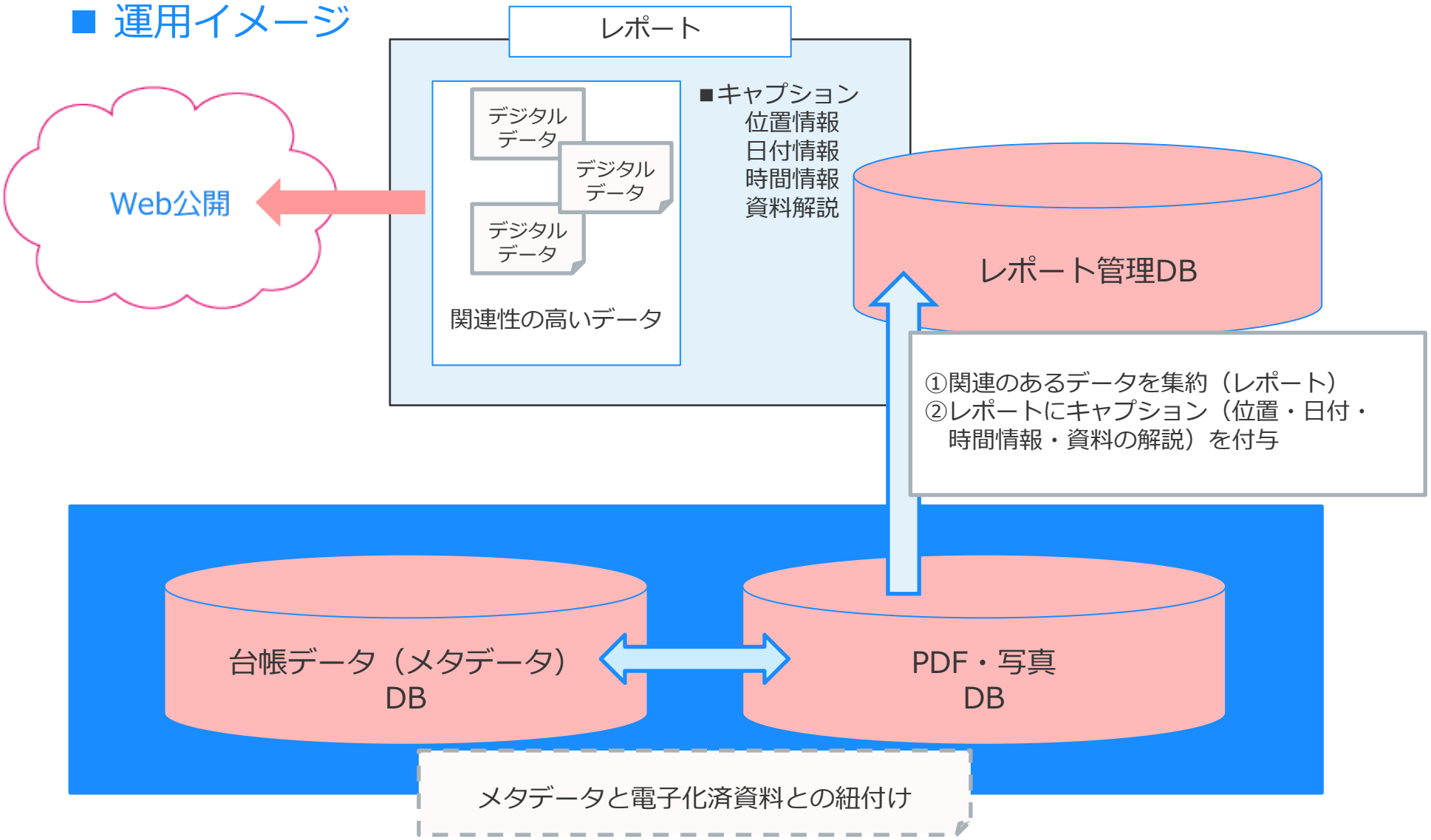
※Simile Timeline（オープンソース）を利用

■ アクセス状況


サイト訪問者数
3,500
3,000
2,500
2,000
1,500
1,000
500
0
3,218
2,838
1,827
1,310
1,088
625
646
931
535
855
2013年5月
6月
7月
8月
9月
実訪問者数
延べ訪問者数


サイト内ページ閲覧数
160,000
140,000
120,000
100,000
80,000
60,000
40,000
20,000
0
152,070
41,411
34,165
36,337
24,132
2013年5月
6月
7月
8月
9月

■ 運用イメージ


レポート
デジタルデータ
デジタルデータ
デジタルデータ
関連性の高いデータ
■キャプション
位置情報
日付情報
時間情報
資料解説
Web公開
レポート管理DB
①関連のあるデータを集約（レポート）
②レポートにキャプション（位置・日付・時間情報・資料の解説）を付与
台帳データ（メタデータ）DB
PDF・写真 DB
メタデータと電子化済資料との紐付け

■ レポートの例

礼拝堂

2012年3月11日（日）13:52　場所：多賀城キャンパス

●東日本大震災から1年のこの日、多賀城キャンパスにおいて、「東北学院東日本大震災追悼礼拝」を開催。震災・津波被害を受けた多賀城市民の避難場所となった礼拝堂で、追悼礼拝と東北学院大学オルガニストの今井奈緒子教授による追悼演奏が行われた。

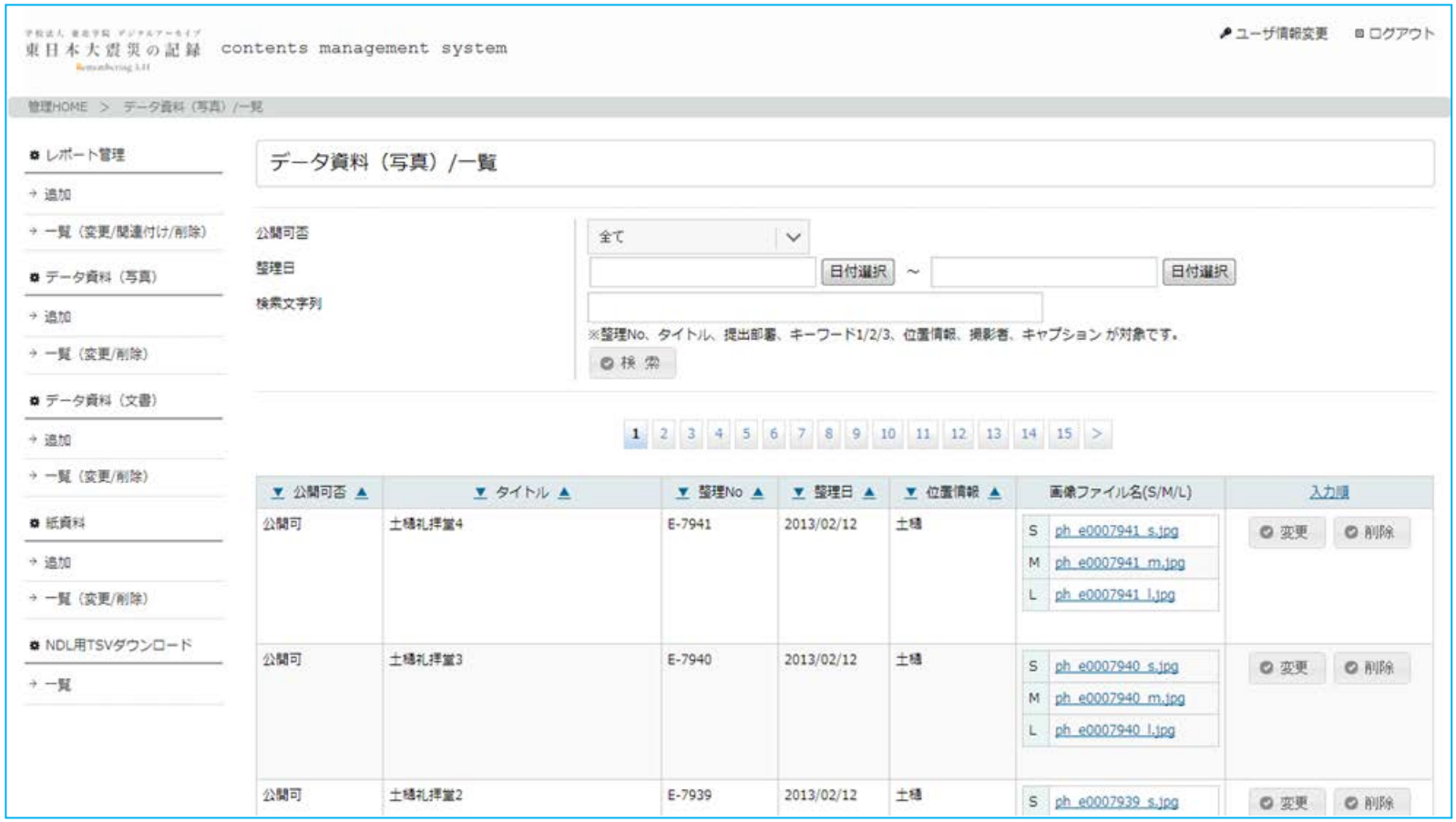
多賀城礼拝堂
2012/03/11 15:19

多賀城礼拝堂
2012/03/11 15:18

：後から付与した情報（キャプション）

■ アーカイブシステム（東北学院震災アーカイブWEBシステム）

・既存のデジタルアーカイブ・リポジトリシステム等は利用せず



2｜デジタルアーカイブ『東日本大震災の記録 Remembering3.11』

■ 最近追加されたコンテンツ

オーラルヒストリー（証言インタビュー動画）

■法人各校役職者インタビュー（質問例）

- 理事長・学長それぞれの判断の分担
- 判断に迷った場面
- 危機管理運営に対する考え
- 震災以前の災害対策と実際
- 指揮命令系統・キャンパス間の連絡体制
- 一般市民の避難所となった多賀城キャンパス礼拝堂運営における多賀城市との連携の実際と課題
- 学生・教職員の安否確認方法
- 学生・教職員の精神面のケア
- 授業再開に向けて必要に迫られたこと
- 入学予定者への対応

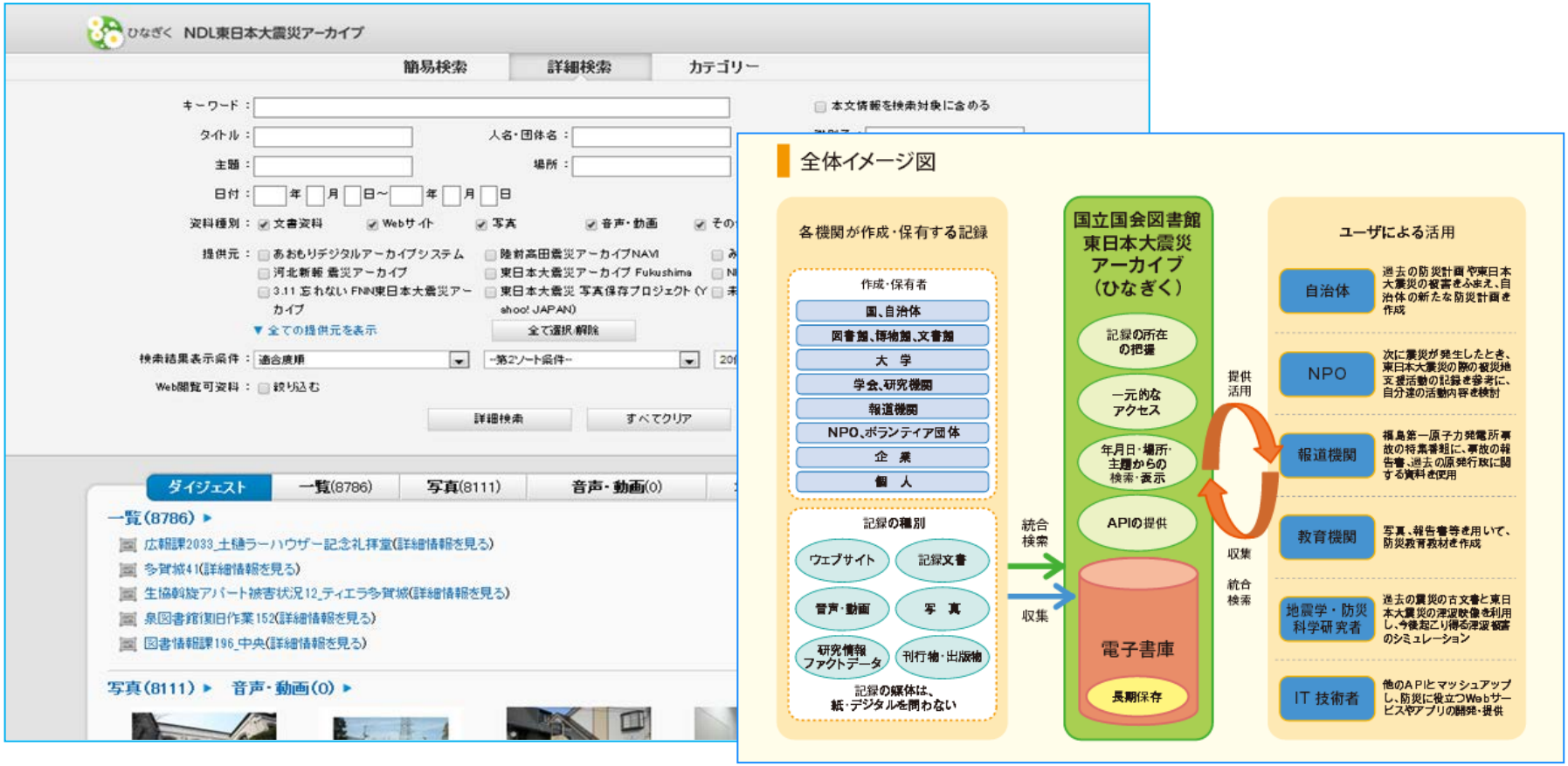
など

インタビュー結果は

震災記録集の編纂にも活用

■ 学外連携

国立国会図書館東日本大震災アーカイブ「ひなぎく」（http://kn.ndl.go.jp/）へのメタデータ提供



国立国会図書館東日本大震災アーカイブ ひなぎく パンフレットより

■ アーカイブデータの活用事例

日本私立大学連盟　国際連携委員会編

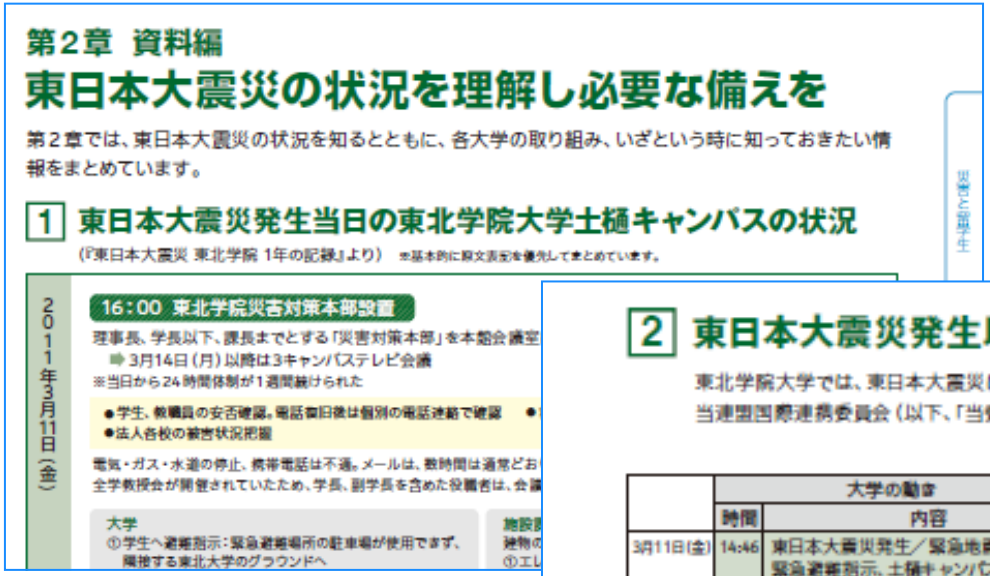
『留学生担当者用　大規模災害時の留学生サポートマニュアル』

第二章「資料編」において、東日本大震災の際に発生した状況及び推移を、

震災写真集・デジタルアーカイブに収録されたデータを利用し再現

※連盟ホームページにて全文無料公開

http://www.shidairen.or.jp/blog/info_c/international_c/2014/03/28/14689



第2章　資料編

東日本大震災の状況を理解し必要な備えを

第2章では、東日本大震災の状況を知るとともに、各大学の取り組み、いざという時に知っておきたい情報をまとめています。

1 東日本大震災発生当日の東北学院大学土樋キャンパスの状況

（『東日本大震災 東北学院 1年の記録』より）　※基本的に原文表記を優先してまとめています。

2011年3月11日（金）

16:00 東北学院災害対策本部設置

理事長、学長以下、課長までとする「災害対策本部」を本館会議室

➡ 3月14日（月）以降は3キャンパステレビ会議

※当日から24時間体制が1週間続けられた

●学生、教職員の安否確認。電話審日後は個別の電話連絡で確認

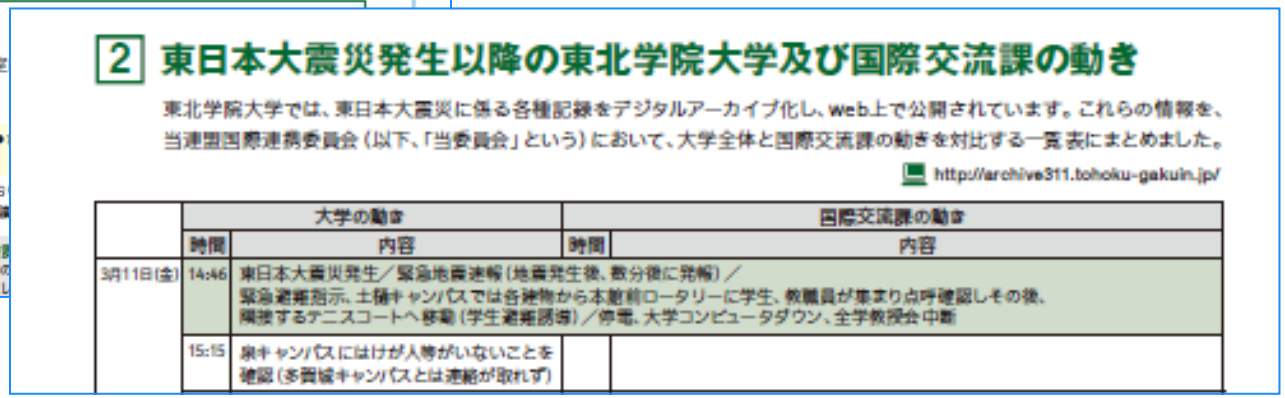
●法人各校の被害状況把握

電気・ガス・水道の停止、携帯電話は不通。メールは、数時間は通常どお

全学教授会が開催されていたため、学長、副学長を含めた役職者は、会議

大学

①学生へ避難指示：緊急避難場所の駐車場が使用できず、隣接する東北大学のグラウンドへ



2 東日本大震災発生以降の東北学院大学及び国際交流課の動き

東北学院大学では、東日本大震災に係る各種記録をデジタルアーカイブ化し、web上で公開されています。これらの情報を、当連盟国際連携委員会（以下、「当委員会」という）において、大学全体と国際交流課の動きを対比する一覧表にまとめました。

http://archive311.tohoku-gakuin.jp/

	大学の動き		国際交流課の動き	
	時間	内容	時間	内容
3月11日(金)	14:46	東日本大震災発生／緊急地震速報（地震発生後、数分後に発報）／緊急避難指示、土樋キャンパスでは各建物から本館前ロータリーに学生、教職員が集まり点呼確認しその後、隣接するテニスコートへ移動（学生避難誘導）／停電、大学コンピュータダウン、全学教授会中断		
	15:15	泉キャンパスにはけが人等がいないことを確認（多賀城キャンパスとは連絡が取れず）		

■ 今後の課題

1．アーカイブを単なる記録にとどめないために --記録したデータに「記憶」を持たせる

たとえば、1枚の写真をアーカイブすること→ 震災前の、震災後の「記憶」を担保すること

東北学院　閖上シーサイドハウス

失ったもの、新たに生まれたもの

時間の経過によるこころの移ろい

デジタルアーカイブに収録された写真、メタデータでは語りきれない、隠れた「記憶」（想い、ことば、感情）

撮影者からのオーラルヒストリーの収集

写真に「記憶」を持たせるためには？

見せ方の工夫（写真の持つ記憶を表出させる展示企画など）

■ 今後の課題

2．広報

システムを作って登録して、で終わり･･･ではない、さらなる利活用のために

たとえば

教育機関におけるBCP（事業継続計画：Business continuity planning）策定

→策定に最も有用な初期対応データがそろっているが･･･

→自学のBCP策定にすら活用されていない･･･？

3．持続性の担保

予算やマンパワーの問題で維持できなくなった場合の想定は必要

アーカイブの意義・内容を未来に残すための、記録保管の枠組みを

【参考】震災記録集
『After3.11 東日本大震災と東北学院』における
アーカイブデータの活用

参考| 震災記録集『After3.11 東日本大震災と東北学院』

■ 記録集編集上の「3つの視点」

危機管理

ドキュメント　After3.11 東日本大震災と東北学院

第1部：2011年3月11日～31日の記録「その時、東北学院では」

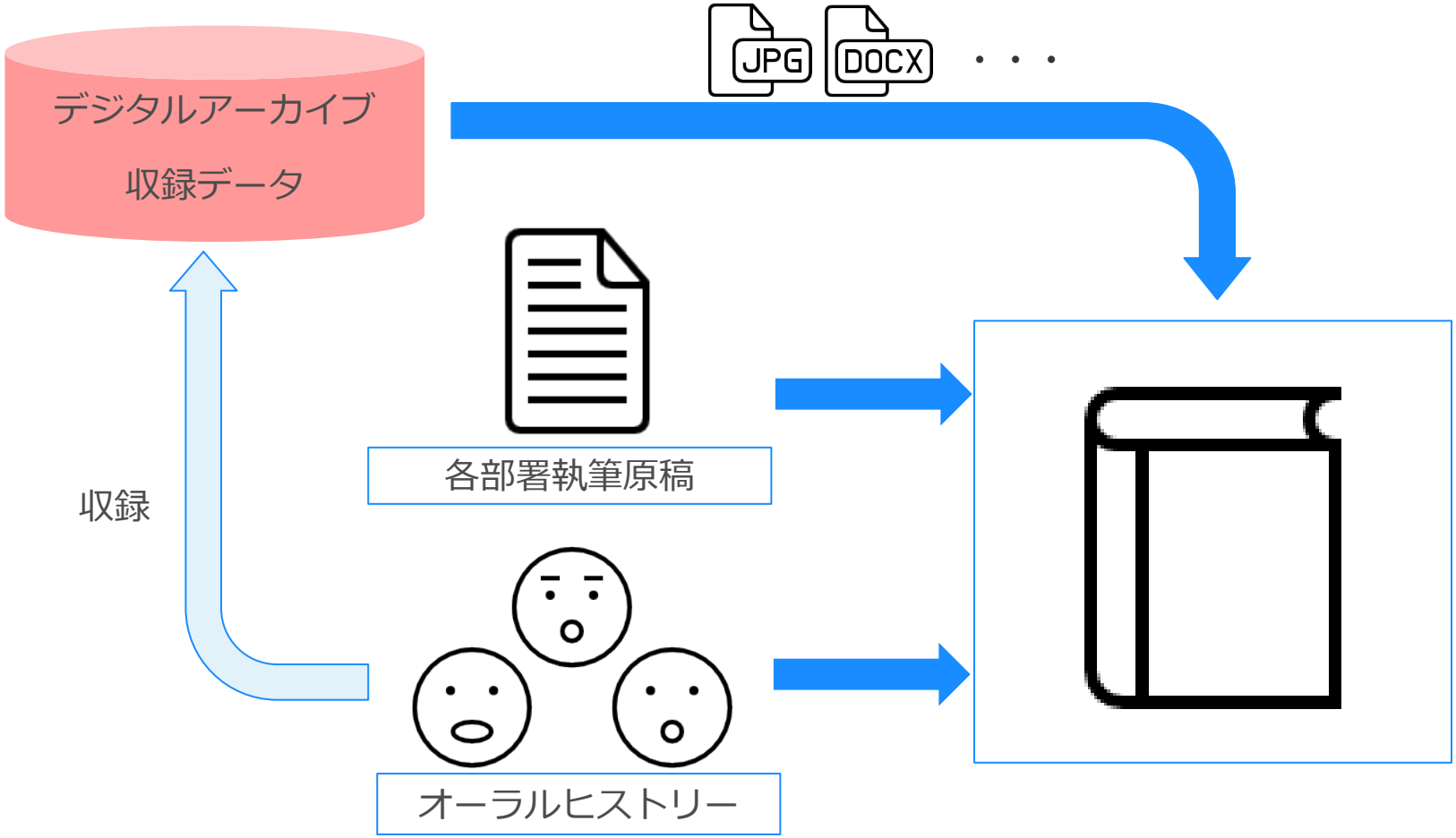
教育研究

第2部：2011年4月1日～2013年3月11日の記録「東北学院が取り組んできたこと」

社会との連携

第3部：次代へのメッセージ「これから東北学院では」

■ 編集過程におけるアーカイブデータの利活用



構築したアーカイブを自学の災害対応データベースとして利用

ご清聴ありがとうございました